

令和2年6月18日(木)

## 単元名

「インターネットの投稿を読み比べよう」  
 ～共感を生む説得のポイントを使って、投稿を書こう～

## 1 単元について

本単元は、小学校学習指導要領国語（以下「学習指導要領」とする。）第5学年及び第6学年〔知識及び技能〕（2）情報の扱い方に関する事項，〔思考力，判断力，表現力等〕「C読むこと」の内容に基づき設定した。学習指導要領には，以下のように示されている。

〔知識及び技能〕

(2) 情報の扱い方に関する事項

イ 情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

〔思考力，判断力，表現力等〕C 読むこと

(1)ウ 目的に応じて，文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり，論の進め方について考えたりすること。

オ 文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えをまとめること。

## (1) 単元の目標

- 情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 [知識及び技能] (2)イ
- 目的に応じて，文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり，論の進め方について考えたりすることができる。 [思考力，判断力，表現力等] C (1)ウ
- 文章を読んで理解したことに基づいて，考えをまとめることができる。 [思考力，判断力，表現力等] C (1)オ
- 言葉がもつよさを認識するとともに，進んで読書をし，国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力，人間性等」

## (2) 単元の評価規準

| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|--|---|
| ・情報と情報との関連付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 ((2)イ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において，目的に応じて，文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり，論の進め方について考えたりしている。(C (1)ウ)</li> <li>・「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，考えをまとめている。(C (1)オ)</li> </ul> | ・粘り強く，論の進め方について考え，学習の見通しをもって分かったことや考えたことを文章にまとめようとしている。 |

### (3) 児童観

#### 学級

昨年度1月の標準学力調査国語科の説明的文章の設問において、文章を読んで、自分の考えを結論と理由の2段落構成で書くことができた児童が54.8%。自分の考えを、自分の体験を交えて記述することができた児童が50.8%であった。これらのことから、文章構成を明確にして自分の考えを書くこと、自分の考えを理由を明らかにして書くとはどのように書くのかということに課題がある

#### 個

対象児童においては、特に「記述する」ことに課題が大きい。標準学力調査で記述回答を求められる設問では、国語科で3問中2問が無回答であり、算数科では2問中2問とも無回答であった。一方、授業では自分の考えを言葉で伝えようとする姿が多く見られる。ただし、短い言葉で発言を終えたり、途中で話が止まったりすることがある。授業の振り返りを記述する際、書き始めるまでに時間がかかる。どのようなことを考えているか声に出させてみると記述へ移行することができるが、短い文章や一文で記述を終えていることが多い。

また、昨年度のF Uの取組によると、対象児童は説明や記述において、とりかかりに時間がかかるという実態分析から、周りの友達の発言やヒントカードの支援をすることで、児童が説明や記述をすることができたことが分かった。

以上のことから、自分の考えをもってはいるものの、何をどんな言葉や順序で書けばよいか等のつまずきから、うまく伝えたり記述したりできないことが分かった。また、友達の言葉やヒントカードを自力解決にいかすことができることも分かった。

### (4) 指導観

#### 学級

教材文はインターネット上の投稿のため、常体、敬体、根拠の挙げ方も様々である。さらに、11もの投稿を読み進めるため、内容把握に難しさが生じると考えられる。したがって、投稿者の意見、理由や根拠を整理するために、同じ立場の投稿を色で分けたり、だれがどの投稿に対して意見を述べているのか等を矢印を加えたりして視覚化する。

また、単元の終わりに、「投稿12」を書く活動を設定する。児童が投稿を書くために、単元を通して「共感を生む説得のポイント」を読み取って次のように整理する。**①**意見や主張の述べ方や態度**②**理由や根拠の挙げ方の2点である。**①**では、各投稿の特徴とともに、全投稿が3段落構成であることや2段落目に理由や根拠が述べられている等の文章構成の共通点も扱う。**②**については、「具体的な数値」「有名人の言葉」「自分の経験」「ことわざや格言」等に分類し、共感を生む内容の吟味や書く活動の際に児童が活用できるようにする。

#### 個

対象児童は、各投稿を読み取る学習よりも、読み取ったことを活用して「投稿12」を書く学習でつまずくことが考えられる。書く活動の場面における支援に重点をおき、次の2点の支援の有効性を検証する。1点目は段落構成ヒントカード、2点目は書き始めのヒントカードとする。(別紙)

1点目の段落構成ヒントカードは、1段落目「意見や結論」、2段落目「理由や根拠」、3段落目「結論」等のように、それぞれの段落にどんな内容を書くかよいか書かれ、メモができるようにしておく。段落構成ヒントカードだけでは投稿が書けないようであれば、2点目に挙げた、書き始めヒントカードを与える。このヒントカードは、段落構成ヒントカードに、それぞれの段落の書き始めの言葉を例示しておく。これらのヒントカードを用いれば、対象児童が既習内容を活用して「投稿12」を書くことができるだろうと考える。

ただし、ヒントカードが必要かどうかを対象児童に選択させるなど、学習状況に応じた支援に留意する。

## 2 指導計画 (全7時間)

| 次 | 学習活動                     | 評価規準【観点】<br>(評価方法) | 対象児童への手立て                           |
|---|--------------------------|--------------------|-------------------------------------|
| 一 | ・学習課題をつかみ、学習の見通しを立てる。(1) | 【態】<br>(ノート・行動観察)  | ○学習の流れの見通しを持たせるために、学習内容をナンバリングして示す。 |

|          |  |   |  |
|----------|--|---|--|
| <p>二</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投稿 1～5 までを読み，意見や主張と，その理由や根拠を捉える。<br/>(1)</li> <li>・ 投稿 6～11 までを読み，意見や主張とその理由や根拠を捉える。<br/>(1)</li> <li>・ 自分が最も共感する投稿を一つ選び，納得した理由を説明する。<br/>(1)</li> <li>・ 説得のためにどんな工夫をしているか，「共感を生む投稿のポイント」を見つける。(1)</li> </ul> | <p><b>【知】 【思】</b><br/>(ワークシート・ノート)</p> <p><b>【知】 【思】</b><br/>(ワークシート・ノート)</p> <p><b>【思】</b><br/>(ワークシート・ノート)</p> <p><b>【思】</b><br/>(ワークシート・ノート)</p> | <p>○ 投稿と投稿の関係を読み取らせるために，A3 サイズに教材全文全体を載せたワークシートを準備する。</p> <p>○ 同じ意見の投稿者の名前に色を付けさせたり，対応する意見を矢印でつないだりして，それぞれの投稿の立場を視覚化する。</p>        |
| <p>三</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議論の続きに参加するつもりで，読み手に十分の考えが伝わるように工夫しながら，投稿の文章を書く。(1) (本時 6 / 7)</li> <li>・ 投稿を友達と読み合っ感想を伝え合い，学習を振り返る。(1)</li> </ul>   | <p><b>【思】</b><br/>(ワークシート・ノート)</p> <p><b>【態】</b><br/>(ノート・行動観察)</p>   | <p>○ 「共感を生む投稿のポイント」を表に整理し，掲示する。</p> <p>○ 「段落構成」と「書き始め」のそれぞれのヒントカードを準備する。</p> <p>○ グループやペアのメンバーを入れ替えるなどして，多くの児童と考えを交流し合えるようにする。</p> |

\* 評価の観点の略称は以下の通り。

知識・技能… **【知】** 思考・判断・表現… **【思】** 主体的に学習に取り組む態度… **【態】**

### 3 本時の展開 (6 / 7 時間)

#### (1) 本時の目標

○ 「読むこと」において，文章を読んで考えたことを「共感を生む投稿のポイント」にそってまとめることができる。

**【思考・判断・表現】**

#### (2) 評価規準

○ 「読むこと」において，文章を読んで考えたことを「共感を生む投稿のポイント」にそってまとめている

**【思考・判断・表現】**

(3) 学習の展開

| 学習活動                        | 指導上の留意事項 (◇)<br>予想される児童の反応 (・)<br>対象児童への指導の手立て (◆)  | 評価規準 (○)<br>【観点】<br>(評価方法)                                 |
|-----------------------------|---|--|
| 1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 | ◇学習場面を確認させるために、学習計画を常掲しておく。<br>◇前時までに整理した「共感を生む投稿のポイント」を掲示する。<br><div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; margin: 5px 0;">             めあて 「共感を生む投稿のポイント」を使って、「投稿 12」を書こう。           </div>  |  |
| 2 「投稿 12」を書くための見通しをもつ。      | ◇全投稿と同様に 3 段落構成で書くよう条件を示す。<br>◇どのような立場で投稿を書くのか、例示する。<br>(例) 元の記事に対する自分の考え。<br>投稿者の誰かに対する賛成・反対意見 など<br><br>◇取り挙げる理由や根拠の内容を「共感を生む投稿のポイント」から選択させる。   |  |
| 3 「投稿 12」を書く。<br><br>個人     | ◇教材文同様に、横書きのワークシートを準備する。<br>◆児童の学習状況に応じて、「段落構成ヒントカード」「書き始めヒントカード」を示す。<br><br>・ ぼくは、Bさんの意見に反対です。勝利を求めるのもいいけど、けがをして運動ができなくなるのは、いやだからです。<br>なぜかという、ぼくの友達は、バドミントンを習っていますが、そのクラブの先輩は練習をがんばりすぎて、かたをけがしてしまって試合に出られなくなったそうです。試合に勝つためにがんばっていたのに、かわいそうだと思います。<br>だから、けがをするほどの厳しい練習をするという意見には反対です。 | ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、考えをまとめている。【思考・判断・表現】(ワークシート) |
| 4 ペアで投稿を読み合う。               | ◇投稿を書く条件が満たされているか吟味するために、ペアで読み合う場を設定する。<br>・ 3 段落で書けているね。<br>・ 「共感を生む説得のポイント」の○番を使っているね。<br>・ 理由の段落に「自分の経験」を挙げているけれど、もう少し具体的に書くと、もっと伝わると思うよ。  |  |

